

第3章

第5次計画の取組

1 基本理念

第5次計画では、一人ひとりの多様な価値観を尊重するとともに、人口減少・少子高齢化が進展する中、地域住民の積極的な参画と活動しやすい環境づくりを図りながら、持続可能な地域共生社会を実現する考え方にに基づき、次のとおり基本理念を定めます。

《基本理念》

「だれもが 自分らしく ずっとつながり支え合える 地域づくり」

2 基本方針

基本理念を実現するための基本方針として、第4次計画の3つの基本方針を再構築し、持続可能な地域づくりを重要な視点として、地域住民一人ひとりの参画・協働に基づき、つながり・支え合いの好循環を創出することを目指して、以下の4つの基本方針のもと、取組を推進していきます。

基本方針Ⅰ つながり支え合える人づくり <意識が高まる>

行政や、地域活動を行う団体等が、地域でどんな活動ができるのか分からない方・参加したことがない方などを対象として、地域福祉活動を知ってもらい、関心を持ち自分の地域とそこで暮らす人へ理解を深め、思いやる心を育む意識作りに取り組みます。

また、地域や身の回りの人との関わり合いの中で、自分以外の人の視点に立ち、自分が地域でどんな活動ができるかを考え、気付いてもらう機会を作り、地域活動参加に向けて準備してもらうための取組を推進します。

基本方針Ⅱ 参画しやすい仕組みづくり <参加してみる>

行政や、地域活動を行う団体等が、地域活動への参画の意識が高まってきた方・準備をしてきた方などに向けて、地域活動に触れる機会をつくり、実際に体験・交流してもらう取組を推進します。

地域住民同士のつながりが希薄化する中、普段から地域の人たちと顔見知りになり、声を掛け合える関係を築くことが大切であることから、多様な世代の人たちが気軽に集い、日常的に交流できる場所や機会を確保し、地域への参画を促します。

基本方針Ⅲ ずっと支え合える体制づくり <つながり続ける>

行政や、地域活動を行う団体等が、住民同士が主体となり地域課題について話し合い、解決に向けた取組ができ、また、地域での解決が困難な課題を相談できるような身近な相談窓口の整備等に取り組みつつ、地域団体等への情報共有や相互啓発等に取り組み、地域活動に参加された方・継続して地域とつながる方などが地域で活動を継続できる環境づくりに取り組みます。

また、平成28年熊本地震等の災害の教訓を踏まえ、地域の高齢者や障がい者等、配慮を要する方々の避難支援など、普段から地域で支え合う体制整備に取り組みます。

基本方針Ⅳ だれもがつながる地域づくり <自分らしく暮らせる>

社会情勢の変化や価値観の多様化などにより、孤独・孤立問題等の課題が顕在化してきました。こういった複合的な問題や制度の狭間の問題を解決するため、地域と連携できる多様な関係機関・地域で困難

【第4次計画と第5次計画の計画体系の比較】

